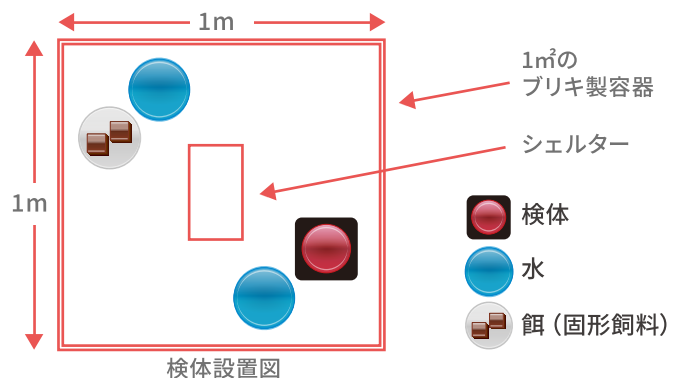


マックスフォース マグナム チャバネゴキブリに対する任意摂食室内試験②

前処理 試験容器 (1m²) にチャバネゴキブリ雌雄成虫 (各10頭、合計20頭) を放置した。

1 試験方法

検体 (マックスフォース マグナムを注入した誤食防止容器) を配置し、LT₅₀、LT₉₀、マックスフォース マグナムの喫食率を求めた。LT₅₀、LT₉₀：それぞれ半数致死又は90%致死に至るまでの日数を示す。



2 結果

マックスフォース マグナムは対照薬剤に比べ、半数致死時間 (LT₅₀) 及び90%致死時間 (LT₉₀) に関して有意に優れていた。マックスフォース マグナムは対照薬剤の23.3%に比べ有意に高い喫食率47.5%を示した。

供試薬剤	雌雄各数 (合計供試虫数)	配置量 (g/m ²)	LT ₅₀ (日)	LT ₉₀ (日)	平均喫食率 (%)
マックスフォース マグナム	各10頭 合計20頭	0.4g (容器入り)	0.5	1.0	47.5
対照薬剤M	各10頭 合計20頭	0.3g (容器入り)	2.3	8.3	23.3

3 考察

マックスフォース マグナムは高い喫食性と、確実な致死効果を持つ優れたゴキブリ用ベイト剤ということがわかった。

試験機関 社内試験